



# とうきょうすくわくプログラム



## テーマ:音楽 No.1

1歳児・2歳児・3歳児・4歳児 実施日: 令和7年5月から令和8年3月

### 🌸 テーマの設定理由

・もともと、絵本を読んだり集まりの時に歌ったりするときに、歌が大好きなクラスであった。季節の歌を歌ったり手遊びをしたりする中で、もっと子どもたちの表現やリズム感などを育みたいと考えた。音楽遊びを通して様々な楽器の音を聞いたり、自分で鳴らしたりする経験を通してリズムや歌などに、より興味関心をもてる活動を取り入れていきたいと考えた。

### 🎮 活動スケジュール

5月から毎月2回隔週で1回約20分から30分程度の外部講師による音楽あそびを導入。

日常の保育の中で、朝や夕方の歌、季節の歌、手遊びなどを存分に楽しむ。

「新巻シャケ先生」をお呼びし、遊び歌ライブを行う。

### 📝 活動のために準備したもの、環境設定

音楽あそびの中でリズムをとり、友だちとの関わりを促すことができるように、ミニタンバリンや鈴が入ったボールを用意する。また、日常的に自ら手に取って歌ったり読んだりできるように歌の絵本などを季節によって入れ替えながら常備する。

### 😊 活動の内容

外部講師によるリトミックを実施し、音楽に合わせて身体を動かしたりリズムや音の変化を楽しむ活動を行った。毎回、始まりと終わりで決まった歌を歌い、見通しをもって参加できるようにすることで、会を重ねるごとに主体的に活動に取り組む姿が見られるようになった。ピアノの音を聴き分け、音の強弱や明暗などに反応し、それに合わせて自由に身体を動かしたり揺らしたりして楽しんでいた。また、日常的に歌に親しみ季節の歌を歌うことで、本物のこいのぼりを見て「こいのぼり」の歌を歌ったり、かたつむりを見て「でんでんむし」を歌ったりしてイメージを膨らませ、本物と照らし合わせたりして自ずと口ずさむ姿があった。シャケ先生の遊び歌ライブでは、当日を楽しむことはもちろんだが、その後の保育の中で何度もリクエストがあり、そこで行った曲を歌ったり踊ったりして楽しんだ。





# とうきょうすくわくプログラム

## テーマ:音楽 No.2

2歳児・3歳児・4歳児

実施日: 令和7年5月から令和8年3月

### 🌸 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

音楽遊びが始まった数か月は、ホールという広い環境で、走りたくなる子が多く、活動中に音には関係なく走る姿が多くあったが、回数を重ね、音楽遊びの雰囲気や活動内容に慣れてくると自然と走る姿も見られなくなった。また、始めは音楽遊びを各々で楽しむ姿があり、友だちと関わる姿は少なかったが、2人一組で楽器を鳴らしたり、クラス全体で輪になって活動したりする中で徐々に関り方や、一緒に行く楽しさを知り友だち同士で誘い合う姿が見られるようになった。また、音楽遊び以外の時間でも音楽遊びで歌っている歌を口ずさんだり、自由遊びの時間にリズム遊びをしたりする姿があった。また、年度初めは、音楽遊びに抵抗があり、保育者のそばから離れられなかったり、参加を拒む子もいたが、保育者が側につきながら一緒に行ったり、友だちの姿を知らせたり、活動に積極的な子と一緒に活動できるよう誘いかけることで徐々に活動に慣れることができた。活動を通して、音やリズムを聞き分けて、高い音、低い音、速いリズム、遅いリズム、音が止まった時など、音やリズムに合わせた動きができるようになった。シャケ先生の遊び歌はライブ当日以降も子どもたちの中で楽しさが続き、保育者にリクエストをしたり自分たちでハンカチ等をもってリズムに合わせて身体を動かしたりする姿が見られた。

### 😊 実践から子どもの姿、振り返り

今までの音楽遊びでは、曲に合わせて体操やダンスをしたり、楽器を使って音を鳴らしたりということが多かった。今回、音楽に関する様々な活動を行い子どもたちと一緒に経験して、保育者も音楽遊びのやり方、子どもへの伝え方など、参考になることがあった。初旬は新しい活動に戸惑う子もいたが、回数を重ねることで新しい活動にも全員が積極的に挑戦したり、音楽遊びを通して友だちと一緒に歌ったり楽器を鳴らしたり、時には友だちと協力したりして行う活動にも取り組み、子ども同士の関わりを深めることにもつながったと感じた。音やリズムに合わせて動作を変えたり、楽器の鳴らし方を変えたりする活動を通して、自然とルールのある遊びや自由な表現を楽しむことができるようになった。季節の歌を歌う際に、イラスト絵本だけでなく、布や鈴なども用いて様々自然物などに見立てて表現することで子どももより歌う際にイメージを膨らませながら歌うことができるのだと学びになった。



遊び歌ではお化けに見つからないように自分の好きなものに変身!

キッズタウンうきま保育園

